

第2期亀山市子ども・子育て支援事業計画(案)に対するパブリックコメント意見とその対応

No	意見箇所		意見の趣旨	市の考え方	修正点等
	頁				
1	-	目次	割り振りや頁の数字の重複は見やすく簡素にしてほしい。	「目次」において、各章と1項目目の頁は、構成上の階層に応じて下線や頁の表示位置に差をつけるなど工夫をさせていただいております。完成後、本冊を作成する際に、より分かりやすい表記となるよう検討いたします。	修正無し
2	1	第1章 1. 計画策定の背景と趣旨	「少子・高齢化の進展に伴い」の表現について 「少子・高齢化」の表現は、年齢別人口分布の傾向等を示す表現として使用されるもので、人口減少社会の説明やこの計画の目的と合わせると、「少子化」の方が端的に表せるのではないか。	「少子・高齢化の進展」、「少子化の進展」の表現は、いずれの表現も「人口減少社会」の説明として使用されることがあります。 「少子・高齢化の進展」はより広義な人口減少のみならず、人口バランスの不均衡化などを包含するのに対し、「少子化の進展」はより直接的な人口減少の要因を表す表記であると考えるところです。 この計画が子ども・子育てに関する施策等をお示しするものであることと、ご意見を踏まえ、表現を修正します。	本文1行目 我が国においては、 <u>少子・高齢化</u> の進展に伴い、人口減少社会へと本格的に突入しています。
3	40	第4章 計画の基本的な考え方 2. 計画の基本的な視点	この計画は法に基づき全国の自治体で作成するが、亀山市の特徴も必要と考える。 そのためには、ここで示される「様々な施策を効果的に推進するため、あらゆる施策の実施において意識すべき「横串」となる「基本的な視点」]の意味が分かりにくい。 また、これを明らかにして強い姿勢を示すことで、亀山らしさを出すべきではないか	ご意見の中にある「横串」の表現は、市民の方にわかりづらい表現になってしまっているため、ご意見についても参考に、表現を補足いたします。	本文4・5行目(修正後) そうした中であって、基本理念の実現に向けて実施する様々な施策を効果的に推進するために、あらゆる施策の実施において意識すべき「 <u>横串</u> 」となる「基本的な視点」を次のように定めます。 <u>また、これら「基本的な考え方」を意識することで、個々の施策を進めることによる限定的な効果にとどまらず、多面的な効果の発揮を目指します。</u>
4	40	第4章 計画の基本的な考え方 2. 計画の基本的な視点	「すべての親が安心して子育てをする視点」は、子育てを支援する計画の表現としては違和感を感じる。 第一義的に「親が子育てをする」認識は維持しても、基本的な視点の表現としては合わないのではないか。	この計画においては、子育てに関する支援の方策などをしめしておりますが、一方で、子育てをする主体としては第一義的には親の責任の部分の大切だと考えています。そのため、施策の方向性などにおいても「主体的な子育て」という考えをお示ししています。 そうした考え方を含め、「すべての親が安心して子育てをする視点」を持ち、そのために行うべき支援策に取り組むこととしています。	修正無し